

第 22 回介護福祉士（筆記試験：午後問題）

国家試験 問題と正答（やまだ塾）

（2010 年 2 月 8 日やまだ塾 HP 掲載）

（2010 年 3 月 31 日に「正答」を掲載）

＜やまだ塾解答速報と正答との差異＞

■全問、解答速報と正答は一致していた。

科 目	問 題 文	正 答
医学一般	問題 57 神経系とその機能に関する次の組み合わせのうち、正しいものを一つ選びなさい。 1 視床下部……………記憶 2 延髄……………ホルモン分泌 3 下垂体……………呼吸 4 脛骨神経……………手指の知覚 5 自律神経……………心拍数調節	5
	問題 58 次のうち、冠動脈硬化の四大危険因子として、誤っているものを一つ選びなさい。 1 高血圧 2 喫煙 3 飲酒 4 糖尿病 5 脂質異常症(高脂血症)	3
	問題 59 胃潰瘍に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。 1 痛みは空腹時に多い。 2 便に鮮血が混じる。 3 カンピロバクターが一因である。 4 腹痛は心窩部に多い。 5 手術療法が優先される。	4
	問題 60 次のうち、肺結核の症状としてまれなものを一つ選びなさい。 1 高熱 2 寝汗 3 全身倦怠感 4 やせ 5 咳嗽	1
	問題 61 高齢者に見られる排尿障害に関する次の記述のうち、正しいものを一	1

<p>つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 腹圧性尿失禁は女性に多い。 2 薬剤による排尿障害はまれである。 3 男性では尿路の通過障害は少ない 4 膀胱炎では, 悪寒戦慄を伴う。 5 前立腺がんによるものは減少している。 	
<p>問題 62 甲状腺機能低下症の特徴的な症状に関する次の記述のうち, 正しいものを一つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 寝汗をかく。 2 活気がなくなる。 3 動悸がする。 4 夜, 眠れなくなる。 5 体重が減る。 	2
<p>問題 63 院内・施設内感染の拡大防止に関する次の記述のうち, 適切なものを一つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)の保菌者の居室では, 履物を交換する。 2 ノロウイルス感染症患者の嘔吐物は, 塩素系消毒剤で消毒する。 3 非結核性(非定型)抗酸菌感染症の患者は, 除圧制御ができる部屋に収容する。 4 インフルエンザ患者には, 高機能(N95 タイプ)マスクを着用させる。 5 角化型(ノルウェー)疥癬患者は, 個室管理しなくてもよい。 	2
<p>問題 64 老人性難聴の特徴に関する次の記述のうち, 正しいものを一つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 突然発症する。 2 通常片側性である。 3 音量を上げると明瞭に聞き取れる。 4 低音域が特に聞き取りにくい。 5 有効な治療薬はない。 	5
<p>問題 65 次のうち, 高齢者に見られる血管の特徴として, 誤っているものを一つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 血管壁の肥厚 2 血管壁の硬化 3 内腔の狭小化 4 カルシウムの沈着 5 弾性繊維の増加 	5

	<p>問題 66 次のうち、廃用症候群として、誤っているものを一つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 静脈血栓症 2 骨粗鬆症 3 起立性低血圧 4 外反母趾 5 褥瘡 	4
	<p>問題 67 「我が国の人口とその将来推計」に関する記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 全人口は、今後 40 年減少し続ける。 2 14 歳以下の年少人口は、今後 20 年以内に増加に転じる 3 15～64 歳の生産年齢人口は、今後減少しない。 4 65 歳以上の老年人口は、今後 10 年間は全人口の 15%未満である。 5 65 歳以上の老年人口が全人口に占める割合は、2025(平成 37)年にピークを抑える。 <p>(注)「我が国の人口とその将来推計」とは、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(出生中位(死亡中位)推計)」(平成 18 年 12 月推計)のことである。</p>	1
	<p>問題 68 難病対策に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 イタイイタイ病に対する研究体制の整備が契機となって「難病対策要綱」が定められた。 2 がんは「難病対策要綱」によって実施される対策の対象である。 3 特定疾患治療研究対象疾患については医療費の全額が公費で負担される。 4 地域保健法において、保健所の事業として難病対策が位置づけられている。 5 難病相談・支援センターが各市町村に整備されている。 	4
精神保健	<p>問題 69 精神疾患患者の治療や社会復帰に関する次の記述のうち、適切なものを一つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 社会生活技能訓練(SST)は、行動療法理論に基づいて行われる。 2 日常生活の管理は、患者に一任する。 3 長期入院治療後は、保健所が介入しなければならない。 4 抗精神病薬は、統合失調症の症状があるときだけ服用する。 5 睡眠薬の内服は、病状を悪化させる。 	1
	<p>問題 70 睡眠障害に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 睡眠障害の多くは遺伝性である。 2 早朝覚醒には、早い時間の就寝が有効である。 3 睡眠時無呼吸症候群は、やせ型の人に多い。 4 不眠症は、うつ病では見られない。 	5

	5 加齢に伴い、不眠症は増加する。	
	問題 71 アルツハイマー型認知症に関する次の記述のうち、誤っているものを一つ選びなさい。 1 意識障害がある。 2 知能障害がある。 3 見当識障害がある。 4 後天的障害である。 5 認知症の原因として最多である。	1
	問題 72 精神保健福祉制度に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。 1 精神障害者の入院医療では、医療保護入院の形態が最も多い。 2 精神障害者の通院医療では、患者の自己負担は発生しない。 3 精神保健福祉センターは、精神保健福祉に関する複雑又は困難な相談を扱う。 4 保健所における精神保健福祉相談では、来所相談が最も多い。 5 精神障害は障害者自立支援法の対象となっていない。	3
介護概論	問題 73 介護福祉士の職業倫理に関する次の記述のうち、適切なものを一つ選びなさい。 1 就寝時、利用者に添い寝をし、朝まで一緒に眠った。 2 研修会・学会における資料の利用者氏名は、匿名とした。 3 利用者の旧友から電話で問い合わせが合ったので、利用者の状態を話した。 4 勤務中に、携帯電話に私用メールがきたので返信した。 5 利用者の家族より、感謝の気持ちとして贈り物をいただいた。	2
	問題 74 息子の介護を受けている母親の腕に、つねられたようなあざを発見した訪問介護員の対応に関する記述のうち、適切でないものを一つ選びなさい。 1 他にあざがないか観察した。 2 「大丈夫です」と言う母親の言葉を信じた。 3 事業所の上司に相談した。 4 息子の母親へのかかわりを観察した。 5 息子に介護負担感について聴いた。	2
	問題 75 介護計画の立案に関する次の記述のうち、適切でないものを一つ選びなさい。 1 本人の今までの暮らしに着目する。 2 本人が望む生活の実現を目指す。 3 介護従事者の意向を優先する。 4 家族の意向を反映する。	3

5 状況に応じて変更する。	
<p>問題 76 利用者が熱湯を下肢に浴びてしまった。介護従事者の行う応急処置に関する次の記述のうち、適切なものを一つ選びなさい。</p> <p>1 ズボンを脱がせる。 2 消毒をする。 3 水疱はつぶす。 4 軟膏を塗る。 5 水で冷やす。</p>	5
<p>問題 77 服薬の介助に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。</p> <p>1 舌下錠は噛み砕いて飲む。 2 大きいカプセルは中身を出して飲む。 3 飲みにくい散在はオブラートに包む。 4 食間薬は食事の最中に飲む。 5 貼付剤(血管拡張剤)は毎日同じ部位に貼る。</p>	3
<p>問題 78 介護記録に関する次の記述のうち、適切なものを一つ選びなさい。</p> <p>1 筆記用具として、鉛筆を用いた。 2 行なった介護記録に、記録者の署名をした。 3 利用者が施設を退所するときに、利用者記録を破棄した。 4 記録者の憶測を含めて、利用者の反応を記録した。 5 訂正は、記録を修正液で消してから行った。</p>	2
<p>問題 79 施設・団体等とその業務に関する次の組み合わせのうち、正しいものを一つ選びなさい。</p> <p>1 地域支援包括センター……………虐待防止とその早期発見 2 居宅介護支援事業所……………身体障害者手帳の交付 3 社会福祉協議会……………介護認定審査会の設置 4 地域活動支援センター……………民生委員の任命 5 介護老人福祉施設……………介護予防マネジメント</p>	1
<p>問題 80 居宅介護における福祉用具の選定について、次のうち、介護福祉士の配慮すべき事項として、優先度の低いものを一つ選びなさい。</p> <p>1 家屋の構造 2 家具の配置 3 利用者の身体状況 4 利用者の服薬状況 5 利用者の経済状況</p>	4

介護技術	<p>問題 81 利用者が「昨夜はよく眠れなかったの」と話しかけてきた。次の記述のうち、介護従事者の共感的な対応として、適切なものを一つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「たまには、眠れないこともあります」 2 「眠れないのは、つらいですね」 3 「見回りをした時には、寝ていらっしやいましたよ」 4 「すぐ看護師に連絡をしておきます」 5 「しばらく寝ていた方がよいですね」 	2
	<p>問題 82 次のうち、体温が上昇する要因として、適切でないものを一つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 食事 2 入浴 3 運動 4 睡眠 5 興奮 	4
	<p>問題 83 次のうち、介護保険制度の貸与の対象となる福祉用具として、正しいものを一つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 腰掛便座 2 簡易浴槽 3 歩行補助つえ 4 入浴用介助ベルト 5 移動用リフトのつり具 	3
	<p>問題 84 安定した姿勢を保持する方法に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 立位では、両足をそろえる。 2 椅座位では、利き手側の肘掛に体重をかける。 3 つえを使った立位では、つえを身体に密着させる。 4 ベッドの端に腰掛ける座位では、足底面を床につける。 5 側臥位では、身体をまっすぐにする。 	4
	<p>問題 85 高齢者の脱水の症状に関する次の記述のうち、適切ではないものを一つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 尿量が減少する。 2 わきの下の湿り気がなくなる。 3 体温が低下する。 4 まなざしがうつろになる。 5 舌が乾燥する。 	3

<p>問題 86 施設に入所中の利用者に下痢症状が見られた場合の介護に関する次の記述のうち、適切でないものを一つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 医療従事者に報告する。 2 水分摂取を制限する。 3 排便後、陰部洗浄を行う。 4 腹部を冷やさないようにする。 5 食事内容を確認する。 	2
<p>問題 87 施設に入所中の利用者の衣服の着脱介助に関する次の記述のうち、適切なものを一つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 入浴時に着替えればよい。 2 着替える前に体調を確かめる。 3 居室内のカーテンは開けておく。 4 仰向けの姿勢で行うように勧める。 5 介護従事者の好みで依頼を決める。 	2
<p>問題 88 自分で体位変換ができない利用者の介助に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 痛みがあるので体位変換は行わなかった。 2 目を閉じていたので声をかけずに体位変換を行った。 3 身体とマットレスとの間にできた空間はそのままにした。 4 今の状態を楽だと言ったので4時間後に体位を変えた。 5 利用者が心地よいと感じる体位にした。 	5
<p>問題 89 次のうち、高齢者の口腔ケアの目的として、誤っているものを一つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 唾液の分泌の抑制 2 口臭の改善 3 誤嚥性肺炎の予防 4 歯周病の予防 5 食欲の増進 	1
<p>問題 90 応急手当に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 低温やけどは、損傷部分を温める。 2 手からの出血は、出血部位を心臓より低くする。 3 骨折は、正常の位置に戻して固定する。 4 すり傷は、水道水で十分に洗い流す。 5 食物をのどに詰まらせたときは、まずハイムリック法を行う。 	4

<p>問題 91 介護の記録管理に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 介護記録の共有は、介護職員内にとどめる。 2 個人情報のデータベース管理には、パスワードを使う。 3 家族が情報開示を求めた場合、保管場所への入室を認める。 4 介護記録の保管の責任は、記録者にある。 5 ケースカンファレンスに出された介護記録は、個人管理とする。 	2
<p>(介護技術・事例問題 1)</p> <p>脳梗塞の後遺症がある利用者に関する次の事例を読んで、問題 92 から問題 94 までについて答えなさい。</p> <p>[事例]</p> <p>Eさん(70歳、女性)、5年前に脳梗塞となった。右片麻痺の後遺症があり、2年前から介護老人福祉施設に入所している。移動は車いすを使用し、日中はトイレ、夜間はポータブルトイレで介助を受けながら排泄し、失禁はなかった。娘が頻繁に面会に来ていたが、半年前からがんの治療のため、面会に来ることができなくなった。そのころからEさんの活気がなくなってきた。食事はスプーンを使用し自立しているが、次第に食事量が少なくなってきている。もともと風呂好きであったが、最近入浴を拒みがちである。また、日中でもベッドで眠っていることが目立ち、行事への参加を促しても「いやです」と言う。</p>	
<p>問題 92 Eさんの日常生活支援の方針に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 食事は全介助で行う。 2 日中の睡眠時には起こさない。 3 入浴は勧めない。 4 排便後は陰部洗浄をする。 5 一人でいられる環境にする。 	4
<p>問題 93 Eさんは最近、昼夜を問わず紙おむつを使用することを望むようになった。Eさんへの支援の方法に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 紙おむつを使用する。 2 トイレへの誘導は意図的に行わない。 3 就寝前の水分摂取を制限する。 4 留置カテーテルの使用について医療職と相談する。 5 排泄の間隔を観察する。 	5

<p>問題 94 娘さんが来なくなり、Eさんは最近「生きていてもしょうがない」と言うことが多くなってきた。このようなEさんへの対応に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「元気出しましょうよ」 2 「娘さんの病気が心配ですね」 3 「お風呂に入って気分転換しませんか」 4 「まず身体の状態をよくしましょう」 5 「そんなことを言わないでください」 	2
<p>(介護技術・事例問題 2)</p> <p>次の事例を読んで、問題 95 から問題 97 までについて答えなさい。</p> <p>[事例]</p> <p>Fさん(75歳, 男性, 要支援 2)は, 70歳の時に脳梗塞で入院した。右片麻痺が残ったが, つえと補装具を利用して室内歩行が介助にて可能となり, 3か月後に退院して自宅に戻った。その後週1回の訪問介護を利用しながら, 妻(70歳)と2人で生活している。Fさんは水分を摂取するとむせることが多い。また, 頻尿もある。自分で座位を保持でき, 出された食事は自分でとることができるが, それ以外は介助が必要である。妻は腰痛の持病があるが, 献身的にFさんの介護に努めている。</p> <p>最近, 訪問介護員が訪問すると, Fさんのトイレまでの介助を妻はかろうじて行っており, Fさんはベッドに臥床している状態が多く見られるようになってきた。</p>	
<p>問題 95 Fさんの起居・歩行介助に関する次の記述のうち、適切でないものを一つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 立ち上がるときは, 右上肢を介助者の肩に乗せる。 2 立ち上がるときは, 補装具を着用する。 3 立ち上がるときは, 体幹を十分に前屈させる。 4 歩行のときは, つえ→右足→左足の順に出す。 5 歩行のときは, Fさんの右側から介助する。 	1
<p>問題 96 次のうち, Fさんのおやつとして, 適切なものを一つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 にんじんスティック 2 清涼飲料水 3 とうもろこし 4 プリン 5 ピーナッツ 	4

<p>問題 97 最近になって F さんの妻が、「夜、何度もトイレに呼ばれて大変。持病の腰痛も悪化するし、疲れもたまって介護が辛い」と訪問介護員に訴えるようになった。訪問介護員の妻への対応に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「訪問介護の訪問日数を増やします」 2 「夜はおむつをするようにしましょう」 3 「夜、大変なので昼の介護はしなくていいです」 4 「そのうち腰痛もよくなりますから頑張りましょう」 5 「他のサービスの利用などケアマネジャーと相談してみてもいいですか」 	5
<p>(介護技術・事例問題 3)</p> <p>次の事例を読んで、問題 98 から問題 100 までについて答えなさい。</p> <p>[事 例]</p> <p>Gさん(85歳, 女性)は、夫(88歳)との二人暮らしである。子供3人はいずれも独立して県外に住んでいる。3か月ほど前に玄関先の段差につまずき転倒した。左大腿骨頸部骨折と診断され入院し、手術を受けた。その後の経過は順調で、車いすでの自走ができるまでに回復した。何かにつかまれば2m程度なら歩行できる。ベッドの横でポータブルトイレを使用して、一部介助で排泄している。食事や衣服の着脱、歯磨きも座った状態であれば一人で行える。「家に帰り夫の食事を作りたい」というGさんの強い要望で、退院した。夫は「また転ぶのではないか」と思っている。退院前に、週2回の訪問介護サービスが計画された。</p>	
<p>問題 98 退院後3日目に、訪問介護員が初めて訪問した。Gさんはパジャマ姿で寝たままの状態、夫から食事介助を受けていた。ベッドの横には汚れたおむつがそのまま置いてあった。次のうち、訪問介護員が確認する事項として、優先度の高いものを一つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 Gさんと夫の表情や動作 2 入院中の状態 3 Gさんの好きな食べ物 4 家屋の構造 5 子どもや孫のこと 	1
<p>問題 99 Gさんの生活動作の低下を防ぐための援助に関する次の記述のうち、適切でないものを一つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 夫とともに下肢の筋力トレーニングを行う。 2 天気の良い日に車いすで外に出る。 3 電動エアマットの使用を勧める。 4 一定時間ベッドの端に腰掛けることを勧める。 5 食事内容に小魚類を多くとるように勧める。 	3

形態別介護技術	<p>問題 100 次のうち, Gさんの退院時の要望を実現するための援助として, 最も適切なものを一つ選びなさい。</p> <p>1 一人での歩行練習 2 立ったままでの歯磨き 3 車いすでの訪問介護員との調理 4 普段着への着替え 5 ポータブルトイレでの排泄</p>	3
	<p>問題 101 次のうち, 脱水により起こりやすい疾患として, 適切なものを一つ選びなさい。</p> <p>1 慢性肝炎 2 尿路感染症 3 逆流性食道炎 4 前立腺肥大症 5 脳出血</p>	2
	<p>問題 102 次のうち, 寝たきり高齢者に起こりやすい状態として, 正しいものを一つ選びなさい。</p> <p>1 血圧上昇 2 体温上昇 3 骨密度増加 4 食欲増進 5 抑うつ</p>	5
	<p>問題 103 寝たきりによる合併症とその予防に関する次の組み合わせのうち, 適切なものを一つ選びなさい</p> <p>1 関節拘縮……………カルシウムの摂取 2 残尿……………水分の制限 3 精神機能低下……………個室への移動 4 起立性低血圧……………座位の訓練 5 便秘……………浣腸の実施</p>	4
	<p>問題 104 施設で生活する認知症高齢者の介護に関する次の記述のうち, 最も適切なものを一つ選びなさい。</p> <p>1 廊下で見かけたので, 後ろから声をかけ呼び止めた。 2 家を思い出す品物は家族に持ち帰ってもらった。 3 食事の準備を手伝う様子が見られたので, 箸を並べてもらった。 4 何度も同じことを聞くので, 「さっきも聞きましたよ」と答えた。 5 外へ行こうとしたため, 「部屋の中に入れてください」と言った。</p>	3

<p>問題 105 視覚障害の原因疾患とその特徴に関する次の組み合わせのうち、正しいものを一つ選びなさい。</p> <p>1 糖尿病性網膜症……………網膜出血</p> <p>2 緑内障……………網膜視細胞変性</p> <p>3 白内障……………眼圧上昇</p> <p>4 網膜色素変性症……………ぶどう膜炎</p> <p>5 ベーチエツト病……………水晶体白濁</p>	1
<p>問題 106 耳の構造とその機能に関する次の組み合わせのうち、正しいものを一つ選びなさい。</p> <p>1 外耳……………平衡感覚にかかわる</p> <p>2 鼓膜……………音を集める</p> <p>3 中耳……………気圧の調節をする</p> <p>4 鼓室……………音を電気信号に変える</p> <p>5 内耳……………音を振動させる</p>	3
<p>問題 107 聴覚障害者のコミュニケーション手段に関する記述のうち、適切なものを一つ選びなさい。</p> <p>1 筆談は、短時間で微妙なニュアンスを伝えることができる。</p> <p>2 初めて補聴器を装着したときから健聴者のように聞こえる。</p> <p>3 高齢になってからの中途失聴者には、手話や指文字が適している。</p> <p>4 残存聴力のある場合には、人工内耳が効果的である。</p> <p>5 ファックスやメールは、通信手段として有効である。</p>	5
<p>問題 108 次のうち、腰髄損傷のある人の褥瘡の発生部位として、誤っているものを一つ選びなさい。</p> <p>1 肩甲骨部</p> <p>2 外果部</p> <p>3 仙骨部</p> <p>4 踵骨部</p> <p>5 坐骨結節部</p>	1
<p>問題 109 腎臓機能障害で血液透析療法を行っている利用者の日常生活の支障に関する次の記述のうち、適切なものを一つ選びなさい。</p> <p>1 塩分は 10g/日を目安にするように説明した。</p> <p>2 透析後に入浴するように説明した。</p> <p>3 生野菜を食べるように説明した。</p> <p>4 水分摂取量は医師の指示を守るように説明した</p> <p>5 外出は避けるように説明した。</p>	4

<p>問題 110 精神障害者の生活支援に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 精神障害者同士の交流を避けるように助言する。 2 一人暮らしは避けるように助言する。 3 本人のことは家族に決定してもらおう。 4 外出などの予定に応じて薬の量を調節するように助言する。 5 幻聴は否定せず本人にとっての事実として認める。 	5
<p>問題 111 居宅生活での転倒予防に関する次の記述のうち、適切なものを一つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 スリッパを履くように指導する。 2 玄関マットを敷くように指導する。 3 段差に目印を付けるように指導する。 4 目の粗いじゅうたんを敷くように指導する。 5 夜間のトイレに起きたときの照明は明るい方がよいと指導する。 	3
<p>(形態別介護技術・事例問題 1)</p> <p>消化管ストマを造設している高齢者に関する次の事例を読んで、問題 112 から 114 までについて答えなさい。</p> <p>[事 例]</p> <p>Hさん(75 歳, 女性)は、結腸がんのため 2 年前に下行結腸ストマ造設手術を行った。その後一人で生活をし、ストマの自己管理や身の回りのこともできていたが、身寄りがないのでケアハウスで生活するようになった。前向きに生きていこうと考え、買い物や映画鑑賞にもよく出かけていた。</p> <p>Hさんは、元来几帳面な性格であるため、ストマの管理に関する注意事項を守ろうと努力しているが、現在は少しお腹が張ると訴えている。</p> <p>2 週間前に買い物に出かけた後から元気がなく、自室にこもり、入浴しなくなった。また、ストマの自己管理もおぼつかなくなってきており、ストマ周辺の皮膚にびらんが見られるようになった。</p>	
<p>問題 112 次のうち、Hさんの通常の便の性状として、適切なものを一つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 液状便 2 液状便～粥状便 3 粥状便～軟便 4 軟便～固形便 5 硬便 	4

<p>問題 113 Hさんの日常生活支援に関する次の記述のうち、適切でないものを一つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ヨーグルトを勧めた 2 栄養不足に注意した。 3 皮膚保護剤を貼りかえた。 4 かかりつけ医に連絡をした。 5 入浴を勧めた。 	3
<p>問題 114 次の会話を参考に、立案した介護計画に関する次の記述のうち、適切でないものを一つ選びなさい。</p> <p>職員「1週間くらい前にHさんと話したときに、外出することに不安があるとおっしゃってました」</p> <p>主任「不安の原因は分かりましたか」</p> <p>職員「他の人に嫌な思いをさせたくないと思っているようです。外出したときに情けない思いをしたことがあったようです」</p> <p>主任「Hさんは前向きな人ですから、少しずつ以前のような生活に戻ってほしいと思っています」</p> <p>職員「どうすればHさんが安心して外出できるか、Hさんと一緒に考えてみます」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 外出先のトイレの位置を確認する。 2 外出する前日の食事を減らす。 3 外出時に予備の装具を持参する。 4 外出時に消臭剤を持参する。 5 外出時に予備の下着を持参する。 	2
<p>(形態別介護技術・事例問題 2)</p> <p>次の事例を読んで、問題 115 から問題 117 までについて答えなさい。</p> <p>[事例]</p> <p>右利きの女性、Jさん(38歳)は、1年前に交通事故で脳の右半球に損傷を負い、重度の片麻痺と高次脳機能障害と診断を受けた。3か月前より、身体障害者更生施設に入所している。日中活動では立位安定の機能訓練が行われている。食事は自立しているが、排泄、入浴などの日常生活には介助が必要である。</p> <p>午後は、自分で車いすを操作し、花壇の見えるところまで室内を移動している。休日には夫と娘が面会に来ており、一緒に野外の散歩を楽しんでいる。</p>	
<p>問題 115 次の記述のうち、Jさんの行為として出現しないものを一つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 車いすのブレーキを掛け忘れる。 2 車いすが左側の物にぶつかる。 	4

<p>3 施設内で迷子になる。</p> <p>4 左手で本のページをめくる。</p> <p>5 衣服を裏返しに着てしまう。</p>	
<p>問題 116 花壇を見ていたJさんが車いすから立とうとして転倒した。転倒防止に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。</p> <p>1 立位動作の支援は訓練時に限定する。</p> <p>2 車いすにY字体をつける。</p> <p>3 車いすに離床センサーをつける。</p> <p>4 日々の散歩の付き添いは家族に任せる。</p> <p>5 車いすの使用時間を限定する。</p>	3
<p>問題 117 娘さんの卒業式が2週間後にありJさんは出席を希望している。家族は、「出席させたいが心配である」と話している。家族への支援に関する次の記述のうち、適切でないものを一つ選びなさい。</p> <p>1 式の終了まで参列できるように励ます。</p> <p>2 事故が発生した場合の対処を相談しておく。</p> <p>3 車いす対応が可能な車で行くように勧める。</p> <p>4 車いす移動や排泄の介助を練習してもらう。</p> <p>5 会場の環境、設備を事前に確認するように勧める。</p>	1
<p>(形態別介護技術・事例問題3)</p> <p>呼吸器障害のあるKさんの在宅生活に関する次の事例を読んで、問題 118 から問題 120 までについて答えなさい。</p> <p>[事例]</p> <p>Kさん(70歳, 男性)は、単身生活をしていた。10年前に慢性閉塞性肺疾患と診断され治療を続けてきた。3か月前呼吸困難となり入院したが、2週間前に退院し在宅酸素療法が開始された。介護保険の認定は要介護2であった。退院後は共働きの長男夫婦がKさん宅に同居することになった。週2回程度の入浴を許可されているが、長男夫婦は鼻カニューレをしながらの入浴介助に不安があり、自分たちでは行っていない。Kさんは、同居期間が短い長男の妻に対して遠慮することも多く、昼食の準備は自分で行おうとしているが、食欲がないと食事を摂取しないときがある。退院時、訪問看護と訪問介護が導入された。訪問介護では清潔保持、調理の介助、月1回の通院介助が行われている。</p>	
<p>問題 118 次のうち、Kさんの食事に対する助言として、適切でないものを一つ選びなさい。</p> <p>1 食事は、ゆっくり摂取する。</p> <p>2 水分摂取は、痰の排出を助ける。</p> <p>3 低カロリーのを多く摂取する。</p>	3

<p>4 食事は、回数を増やして摂取する。</p> <p>5 食欲がなく食事が進まない場合は間食をとる。</p>	
<p>問題 119 Kさんの通院介助に関する次の記述のうち、適切でないものを一つ選びなさい。</p> <p>1 余裕をもったスケジュールを立てる。</p> <p>2 携帯用酸素ボンベの残量を確認しておく。</p> <p>3 呼吸困難があるときには休息をとる。</p> <p>4 肺機能訓練のために階段昇降を行う。</p> <p>5 帰宅後はうがいと手洗いを励行する。</p>	4
<p>問題 120 長男夫婦に入浴介助の方法を指導する際の留意点に関する次の記述のうち、適切なものを一つ選びなさい。</p> <p>1 時間をかけてゆっくり入浴する。</p> <p>2 口唇が紫色の場合は入浴しない</p> <p>3 身体を洗うときは、全介助で行う。</p> <p>4 首まで湯につかる。</p> <p>5 入浴後は冷房のきいた部屋で休む。</p>	2